

公益社団法人民間総合調停センター 御中

和解あっせん・仲裁申立書

申立年月日：平成**年**月**日

申立人	住所 〒***-**** 大阪府大阪市北区〇丁目〇番〇号-1111 (電話 **-****-****) (会社名・代表者名) 大阪 太郎 印 (生年月日) 昭和**年**月**日 (**歳)
申立人	住所 〒 (電話) (会社名・代表者名) 印 (生年月日) 年 月 日 (歳)
代理人	住所 〒 (電話) 代理人 印
相手方	住所 〒***-**** 大阪府市北区〇丁目〇番〇号 (電話 **-****-****) (会社名・代表者名) 総合 次郎 印 (生年月日) 昭和**年**月**日 (**歳)
相手方	住所 〒 (電話) (会社名・代表者名) 印 (生年月日) 年 月 日 (歳)

※ボールペンまたは万年筆で記入して下さい。

※本申立書は相手方に送付します。

第1. 申立の趣旨 （相手方に求める結論を記載して下さい。）
相手方は、申立人に対し、50万円及びこれに対する平成20年12月31日から支払済みまで年5分の割合による遅延損害金を支払う
との 和解あっせん・仲裁判断（どちらかを○で囲んでください）を貴センター規則に基づいて求める。
第2. 申立の理由 （紛争の概要と申立を根拠づける理由を記載して下さい。）
1 申立人は、平成20年12月31日午前9時ころ、大阪市北区南森町付近の歩道を歩いていたところ、左手の路地から相手方が運転する自転車が急に飛び出してきて衝突された。
2 申立人は同事故により転倒し、右上腕部打撲等の傷害を負った。このため、申立人は、同日から約1か月間に渡り、近隣の病院で治療を受けることとなった（実通院日数は10日間）。
3 申立人は相手方に対し、治療費や慰謝料等の支払いを求めたが、相手方は「私は歩道に出る前に何度もベルを鳴らしたのだから、あなたにも責任がある」「慰謝料は法外な金額である」などと主張し、5万円以上は支払わないと主張している。
4 上記事故により、申立人が被った損害は次のとおりである。
・治療費：4万5000円
・交通費：5000円
・慰謝料：45万円
5 よって、申立人は、相手方に対し、申立の趣旨記載の請求をする。
第3. 和解あっせん人・仲裁人として選任を希望する者の氏名等 （希望する場合のみ、3名以内でご記入ください）
・氏名（ ） 資格・所属団体等（弁護士・大阪弁護士会）
・氏名（ ） 資格・所属団体等（ ）
・氏名（ ） 資格・所属団体等（ ）

※ボールペンまたは万年筆で記入して下さい。

※本申立書は相手方に送付します。